



会長 佐々木 源 悦
幹事 岩 渕 正 彦
会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2442回例会 2014. 3. 20 No.36

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 菅野幸一郎会員のフォーラムに期待します。
- ・菅野幸一郎会員 本日は、環境保全委員会のフォーラムです。宜しくお願ひ致します。
- ・布施孝之会員 環境保全委員会のフォーラム、ご苦労様です。
- ・村上武彦会員 環境保全委員会のフォーラムに期待。
- ・飯塚仁哉会員 菅野幸一郎会員の環境保全委員会フォーラム、自然が美しく維持されることを願ひしつつ。
- ・高橋義文会員 環境保全委員会のフォーラムを期待。
- ・菅原文之会員 菅野幸一郎会員の環境保全委員会フォーラムを歓迎して。
- ・猪股育夫会員 菅野幸一郎委員長、環境保全委員会フォーラムお疲れ様です。用事があり早退します。
- ・伊藤俊郎会員 ロータリーの会員の皆さんに多くの協賛金を頂き、球児の励みとなりました。有りがとうございました。
- ・清水健会員 従業員の息子さんが無事高校合格。合格を祝して。
- ・及川富男会員 お陰様で確定申告の業務を無事終えることができました。
- ・岩渕正彦幹事以下、環境保全委員会のフォーラムに期待して。
 佐々木崇会員 氏家良典会員 山田直志会員
 佐竹孝行会員 佐藤静市会員 遠藤光則会員
 熊谷敏明会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 佐々木源悦会長

先週、3月20日(木)午後6時30分より「小竹」にて50周年実行委員会による会議が開催され、活発な議論がありました。50周年行事は成功するものと確信いたしました。50周年の記念活動として当クラブ会員全員にポールハリスフェローになっていただくという提案がなされており、クラブのポイントを利用する等、その方法を検討することになりました。皆様のご協力なしには出来ませんので、ご理解をいただけるようにご説明をして進めて参りたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

余目RCとの交流会を、当クラブのお花見移動例会で行う予定です。余目RCより会員のご夫人方の参加の話も出ておりますので、親睦活動委員会を中心に検討致します。決まり次第、皆様にお知らせ致します。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・ガバナー事務所より
復興支援プロジェクトに関するアンケート調査の用紙が届く。
- ・米山梅吉記念館より
1. 館報が届く
2. 賛助会員及び全国一人100円募金運動への協力依頼
3. 春季例祭の案内
日 時 平成26年4月26日(土) 14:00~
場 所 米山梅吉記念館ホール
登録料 無料

各委員会報告

・ロータリー情報委員会 (高橋義文委員長)
会長要件にもありましたように、50周年記念活動として全会員にポールハリスフェローになっていただくことになりました。新入会員の方々には、ポールハリ

スフェローについて理解していただくために、個々に説明させていただきます。又、まだ、ポールハリスフェローになっていない会員にもお話をさせていただきますので、是非ともご理解の上ご協力の程お願ひ申し上げます。

フォーラム

・環境保全委員会 (菅野幸一郎委員長)
ロータリークラブとして環境保全に対してどの様なスタンスを置いているか情報マニュアルから拾ってみました。

地域の環境の質の調査、改善をするように心を配りなさいということで、空気・水・緑・食料など生活環境保全の奉仕は、この委員会に含まれる。そういったことをやりなさい。その環境保全委員会とロータリーとのかわりについては、1992年に規定審議委員会、RIの方で加盟して、クラブに対して必要最低限の生活条件を高めて地球が人類に好ましい場所として生き残れることが出来るように、つまり社会奉仕、世界奉仕プロジェクトに於いても、環境保全及び改善に重点を置くように推奨しております。その各クラブは、こうした事業に対して、政府、地域、産業界の中庸喚起出来る立場にある。更に、RIは環境保全を目指し、絶滅の危機に瀕する動植物を保護する行動を支援するのが、ロータリアン一人一人の責務であると考え。皆様と一緒にここで考えていきましょう。

PM2.5の話ですが、今、中国からかなり飛んで来ております。黄砂は私も何年か前から感じております。ボンネットの上が黄色くなっているのを見て黄砂が飛んで来ているのだと思ったら、今はもっとたちの悪いPM2.5の問題があります。

PM2.5の大きさは、微粒子と呼ばれている目に見えないとても小さな物質です。とても小さな粒なので、なかなか感覚的に分かり得ないということらしいのですが、粒の大きさを表わす単位はマイクロメートルです。1マイクロメートルは、1000粒集まって1ミリメートルですので、1/1000ミリメートルが1マイクロメートルです。つまりPM2.5の粒の大きさは、2.5マイクロメートルです。ピンときませんが、かなり小さい粒です。このマイクロメートルよりも小さい超微粒子のことをPM2.5と正式な使い方をしていきます。

何故PM2.5が問題視されているのか。これは、今に始まったことでなく、過去に於いて、日本でも工場の排気物やディーゼル車の排気ガスに含まれる有害物質が公害として問題になったことがあります。この時の有害物質もPM2.5を含んでいましたが測量出来ませんでした。現在、身近でPM2.5を含む有害なものに、タバコがあげられます。人体に対して有害であり吸い込めば吸い込むほど肺などの気管が触まれていくこととなります。日本という国は、これらの有害な物質に対する対策をとり、規制を行い、汚染不安、大気汚染の原因となる有害なガス排出に対して厳しく取り締まってきたために少しきれいになりました。この努力により日本の空気はきれいになり住みやすい環境となりました。

PM2.5の恐ろしいところは、あまりに粒が小さいために呼吸時に吸い込むと肺の奥にまで到達して定着してしまうことです。肺の奥まで定着したPM2.5という微粒子は、血管の中まで浸透し、血液中に流れ込んでしまいます。肺は触まれ、気管への大きな影響により気管支炎や気管支ぜんそく、肺ガン等の可能性も大きく高まります。日本の環境省の定めるPM2.5の基準値にみえない程のわずかな量であれば、人体への大きな被害からは免れられますが、現在のように基準値の100倍の量が舞っている状態で呼吸すると、大きな人体への影響はさげられません。これと花粉と黄砂と色々な排気ガスが混ざって益々汚れているのが現状です。これは、お金を掛けないと解消出来ません。中国ではやっと色々な対策を取り出しましたが、まだまだ程遠いです。日本もそれなりに予算を使ってきれいにしていく必要があると言われております。

— クリーンキャンペーンについて菅野幸一郎委員長より説明、村上武彦会員、山田直志会員、佐藤静市会員より環境保全について意見を伺いました。



伊豆沼クリーンキャンペーンに参加